

平成30年度拠点間連携共同研究(参加者募集型)報告書一覧

課題番号	研究課題	研究代表者		担当教員	報告書
		氏名	所属機関		
2018-K-1-1 「巨大地震のリスク評価の精度向上に関する新パラダイムの構築」	南海トラフで発生する巨大地震の震源メカニズムの多様性	宮澤 理稔	京都大学 防災研究所	森田裕一 (東大・地震研) 川瀬博 (京大・防災研)	報告書
	地盤災害リスクの予測精度向上に向けた地盤物性の不確実性評価	上田 恭平	京都大学 防災研究所		
	南海トラフ巨大地震のリスク評価に向けた強震動評価と地殻構造の影響の研究	飯高 隆	東京大学 地震研究所		
	ばらつきのある被害リスク評価をふまえた防災計画の検討	牧 紀男	京都大学 防災研究所		
	構造物被害率予測手法の高精度化と地震随伴被害の評価	川瀬 博	京都大学 防災研究所		
	南海トラフにおける人工震源構造調査と自然地震観測から求められる地殻内地震波速度・減衰構造の精度の検討	望月 公廣	東京大学 地震研究所		
	地震・津波および随伴リスク評価のプロファイリング	西嶋 一欽	京都大学 防災研究所		
	系統的な地震リスク評価プラットフォームの構築	松島 信一	京都大学 防災研究所		
2018-K-1-2-5 「巨大地震時における地盤増幅率の予測手法の高精度化」	技術者の特性に依存した解析パラメータのばらつきが地震応答特性の評価精度に及ぼす影響の検討	一井 康二	関西大学 社会安全学部	上田恭平 (京大・防災研)	報告書
	表層地盤構造のモデル化手法の統合解析による地盤増幅特性評価の高度化	地元 孝輔	東京工業大学 環境・社会理工学院		
2018-K-1-2-6 「震源モデルに着目した巨大地震に伴う強震動予測の高度化」	強震動生成域に着目した巨大地震の強震動評価の高度化及び巨大地震に誘発される地震の発生過程に関する研究	宮澤 理稔	京都大学 防災研究所	宮澤理稔 (京大・防災研)	報告書
2018-K-1-2-7 「ばらつきのある被害リスク評価をふまえた防災計画の検討」	ばらつきのある被害リスク評価をふまえた防災計画の検討	牧 紀男	京都大学 防災研究所	牧紀男 (京大・防災研)	報告書
2018-K-1-2-8 「将来時点でのエクスポージャ予測のためのデータ解析とモデル化手法の構築」	将来時点でのエクスポージャ予測のためのデータ解析とモデル化手法の構築	西嶋 一欽	京都大学 防災研究所	西嶋一欽 (京大・防災研)	報告書

※注 研究組織の所属等は現在は異なっている場合があります